

品川区議会だより



第285号

令和3年(2021年)2月4日発行

発行／品川区議会 〒140-8715 東京都品川区広町2丁目1番36号

電話 03-5742-6810(直通) Fax 03-5742-6895

品川区議会ホームページ <https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/>



荏原平塚総合区民会館[スクエア荏原] (荏原四丁目5番)

令和2年第4回定例会・第3回臨時会

● 品川区のこのようなことが決まりました	2
● 第4回定例会・第3回臨時会の議決結果	2～3
● 区政をきく(一般質問)	4～9
● 常任委員会の活動・特別委員会の活動	10～11
● 請願・陳情の結果	12
● 採択・趣旨採択し区長に報告を求めた請願・陳情について	13
● 議会報告会を開催しました	14
● 本会議・委員会の日程(予定)	15
● 清水台小学校の6年生が区議会本会議を傍聴しました	16
● 品川女子学院の中学1年生と意見交換会を行いました	16

表紙の写真について (鈴木智博様撮影)

表紙に掲載の写真は、ご応募いただいた中から選ばれました。

品川区議会では、引き続き品川区議会だよりの表紙等に掲載する写真を募集しています。

詳しくは、品川区議会ホームページをご覧ください。区議会事務局調査係までお問合せください。

写真の掲載については確認済ですが、無断転載・転用は固くお断りします。
ユニバーサルデザインに配慮した書体・配色を使用しています。



72	第二戸越幹線整備工事(上流部シールド)請負契約の変更について
73	指定管理者の指定について (総合区民会館、総合体育館、戸越体育館、家庭あんしんセンター、ぷりすくーる西五反田、八潮在宅サービスセンター、大井在宅サービスセンター、中延在宅サービスセンター、大崎在宅サービスセンター、戸越台在宅サービスセンター、荏原在宅サービスセンター、小山在宅サービスセンター、月見橋在宅サービスセンター、八潮南
91	認知症高齢者グループホーム、戸越台特別養護老人ホーム、荏原特別養護老人ホーム、中延特別養護老人ホーム、八潮南特別養護老人ホーム、平塚橋特別養護老人ホーム、平塚橋高齢者多世代交流支援施設、八潮わかさ荘、大井倉田わかさ荘、東品川わかさ荘、北品川つばさの家、西大井つばさの家、西大井福祉園、かがやき園)
93	品川区長および副区長の給与および旅費条例の一部を改正する条例
94	品川区教育委員会教育長の給与および旅費ならびに勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
95	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
96	会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
97	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
98	学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

意見の分かれた議案

議案番号	件名	結果	自民(8)	自・無(8)	公明(7)	共産(6)	品改(3)	ネット(2)	無所属議員(50音順)						
									(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
64	品川区手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
66	品川区立保育所条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	北品川一丁目地内特別区道路線の認定について	可決	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

令和2年第3回臨時会

会期3日間:令和2年12月23日~12月25日

審議した議案 区長提出議案…1件 計1件

条例制定を求める区民の直接請求(下記*1)を受け、区長から「羽田新飛行経路の運用の賛否を問う品川区民投票条例」の議案が提出されました。この議案は、地方自治法に基づき、区長から意見を付して区議会に付議されたものです。

第3回臨時会の議決結果

意見の分かれた議案

議案番号	件名	結果	自民(8)	自・無(8)	公明(7)	共産(6)	品改(3)	ネット(2)	無所属議員(50音順)						
									(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
99	羽田新飛行経路の運用の賛否を問う品川区民投票条例	否決	×	○2 ×6	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○…賛成 ×…反対 (数字)は所属議員数 無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。

*自民のうち1名は議長の職務を行ったため、議決には加わりませんでした。

*1)直接請求による住民投票とは

住民投票とは、行政の重要事項について、投票によって住民の意思を示し、その結果を議会や長の意思決定に反映させることを求める仕組みです。条例による住民投票を行うためには、「住民投票条例」の制定が必要になります。地方公共団体の議会の議員及び長の選挙権を有する者は、その総数の50分の1以上の者の連署をもって、その代表者から地方公共団体の長に対して、条例の制定または改廃の請求をすることができます。

このようなことが決まりました

令和2年第4回定例会

会期15日間:令和2年11月26日~12月10日

審議した議案等 区長提出議案…36件 請願・陳情…28件 計64件

クラウドファンディングを活用した感染拡大防止対策、区民生活、地域経済の安定に向けた支援等を対象とした補正予算を可決しました

第63号議案 令和2年度品川区一般会計補正予算

補正額は、歳入歳出とも、2億6,152万9千円を追加し、総額を2,505億5,476万円とするものです。主な事業をご紹介します。

クラウドファンディングを活用して支援します!

- 区内医師会、歯科医師会および薬剤師会に、所属する医療機関に支援金を支給します。
【補正額】6,025万円(うち寄附金558万4千円を充当)
- 介護サービスに従事する全職員に、医療・介護用フェイスシールドグラスを配付します。
【補正額】237万6千円(うち寄附金56万5千円を充当)
- 区内障害福祉サービス事業所に、アルコール消毒液を配付します。
【補正額】186万4千円(うち寄附金35万8千円を充当)
- 区内保育園・幼稚園に、各園で必要とされる感染拡大防止対策物品を配付します。
【補正額】104万8千円(うち寄附金68万3千円を充当)

感染症の影響を受けた区内中小事業者を支援します!

【補正額】1億585万8千円

事業者が対策を図る、もしくは危機を乗り越えるために、感染症拡大の防止を行うとともに、販路開拓等に取り組む経費の一部を助成します。

助成額 上限20万円(対象経費の4/5)

対象者 区内中小事業者(販路拡大支援助成(コロナ特別対応型)の交付決定者は除く)

対象経費 ①機械装置および設置費等 ②広告費 ③展示会等出展経費

④委託費、外注費 ⑤業態転換に係る経費

募集期間 令和2年12月11日(金)~令和3年2月26日(金)



第4回定例会の議決結果

全会一致で可決した議案

各議員の賛否

議案番号	件名
63	令和2年度品川区一般会計補正予算(同ページに説明を掲載)
65	品川区立創業支援施設条例の一部を改正する条例
67	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
68	(仮称)品川区立環境学習交流施設新築工事請負契約
69	(仮称)品川区立環境学習交流施設新築機械設備工事請負契約
70	(仮称)品川区立環境学習交流施設新築電気設備工事請負契約
71	第二戸越幹線整備工事(下流部シールド)請負契約

区政をきく (一般質問)

令和2年第4回定例会では、区政全般について、11名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。

一般質問	
11月26日(木)	松澤 和昌 議員(自・無)
	おくの 晋治 議員(共産)
	あくつ 広王 議員(公明)
	湯澤 一貴 議員(自民)
	高橋 しんじ 議員(無所属)
11月27日(金)	芹澤 裕次郎 議員(自民)
	せお 麻里 議員(自・無)
	こんの 孝子 議員(公明)
	のだて 稔史 議員(共産)
	田中 さやか 議員(ネット)
	西本 たか子 議員(無所属)

会派名は次の略語で記載しています。

自民……品川区議会自民党 自・無……自民・無所属・子ども未来 公明……品川区議会公明党
共産……日本共産党品川区議団 品改……品川改革連合 ネット……品川・生活者ネットワーク

本会議における発言の際はマスクを着用することとしておりましたが、第2回定例会本会議より、議長席および演壇においてはアクリル製飛沫防止パネルを設置し、マスクを外しての発言を可能としました。



おくの 晋治 議員 (共産)

第3波のコロナ感染拡大抑止は急務 無症状感染者の発見・保護のためのPCR検査実施へ、区は方針転換を

問 希望する高齢者等への、国の制度を使ったPCR検査をなぜ必要だと考えないのか。

答 行政検査の実施が基本であり、区が感染状況は、感染者やクラスターが多発している状況ではない。高齢者、障害者施設の入所者、通所者、職員全員への、都の制度を使ったPCR検査をなぜ必要だと考えないのか。

問 新規の入所者は行う予定。直接処遇に従事する職員は検査を始めた。感染リスクの高い無症状者にPCR検査を行わないで、どう感染拡大を抑えようと考えているのか。

答 濃厚接触者に加え、感染の疑われる

施設の入所者等には、無症状であっても確実に検査を実施している。医療機関、高齢者、障害者施設の入院、入所者、通所者、職員、また保育、教育等の職員への定期的なPCR検査を求める。

問 現在のところ考えてない。深まるコロナ危機 区民の暮らし・営業を守るため、支援の打ち切りではなく継続・拡大を

答 その考えはない。障害児者総合支援施設へるっぽは、障害者や家族の願いを第一に、事業者の変更ではなく継続こそ

問 建設後1年で公募した理由は何が。建物全体の管理を含め、総合的かつ一体的な施設全体の管理運営をするために行う。

答 利用者等当事者の声をどう受け止めているか。当事者の願いを第一に、現事業者を継続すべきでないか。現在の運営に対する評価として受け止めている。公募による選定は公正公平に実施し、総合的、一体的な管理運営ができる体制にする。



松澤 和昌 議員 (自・無)

介護福祉について 高齢者が安心して暮らせる環境をつくるためのA・I・C活用、介護人材の確保・育成の課題と方針とは。

答 職員の負担軽減と業務効率化、介護人材の確保、育成を図る上で有効であると考えます。今年度区立地域密着型多機能ホームでA・I・Cを活用したシステムを導入した。今後は他施設への展開を検討する。

問 介護職員の相談窓口について、職員同士の対話は大切だが専門的にケアをする機関を設けるべきでは。相談内容によっては本部や外部の相談窓口を設置している所もあり、区に相談がある場合は丁寧に対応する。

答 離職した介護職員の立ち返れる機会を設ける事は急務と考えるが。

防災について 訓練指導を消防団に依頼し、町会・自治会との繋がりが構築できるよう伝達すべきでは。

答 町会より条件付きでも良いので、消防団に入団する事を提案する。防災リーダーを育成する消防団の教育は極めて有益である事から、連携する体制について検討する。

問 荏原3・4分団の待機小屋確保のため補助29号線で空き地になった土地を期間限定で借りられないか。東京消防庁と連携し、様々な方策により用地確保に努める。

答 朝の旗持ち当番は「学校支援地域本部」を活用すれば保護者に負担なく広がるのでは。

問 学校支援地域本部に、83運動の周知とともに協力を求める。中学生のまもるつつ所有が難しいのであれば、しっかりと話し合い携帯の持ち込みも一つの考えでは。スタンスは変わらないが、特別な取り扱いが必要な場合は対応する。



あくつ 広王 議員 (公明)

SDGs (持続可能な開発目標)の推進について 区のSDGsへの取組を区内外に宣言すると共に、専門部署の設置や担当者の配置、職員の名刺に担当事業に該当するアイコンの掲載及びバッジの作成、着用を求める。

問 ESG債の投資表明等の中で区の取組を表明していく。組織横断的な観点から企画部が担当し、名刺やバッジの作成等は研究していく。

答 来年度予算編成における公共工事の考え方を問う。また、現場技術者の労働環境を守るため当事者の事務負担を軽減しつつ実効性を担保した公契約条例の制定を求める。

問 コロナ禍における公共工事と公契約条例について

答 工場の優先順位をつける必要はあるが、契約は区内事業者を優先し、

品川区の障がい者福祉の在り方について 区立障害児者総合支援施設の管理状況について、区側の説明が不十分ではなかったのか問う。また、障がい者部局の人員・予算の拡充、福祉に対する抜本的な意識の転換及び担当部長の設置を求める。

問 誤解を生まぬよう丁寧な説明に努めると共に、障がい児者の地域生活支援拠点として適切な支援が可能な体制を整える。体制整備については地域共生社会の実現をめざし、新たな仕組みの構築を進める。

がん対策について コロナ禍で減少しているがん検診の更なる受診啓発や「マガーズ東京」での相談事業の周知、寄せられたニーズを反映し、ウィッグ・補正下着等の購入費助成などピア・フランス支援制度の導入を求める。

問 検診の重要性の周知と受診啓発を更に図っていく。また、相談事業の中で様々な意見を基に必要なピア・フランス支援を検討する。

湯澤 一貴 議員 (自・民)



コロナ禍を乗り越えるために

区内産業への支援強化のため、今後もコロナ収束まで支援の強化を...

障害者の20時間未満の短時間雇用を取り入れるべきでは...

所連絡会を通じて実践についての情報共有を図り、事業所全体のスキル向上に努めていく。

避難行動個別要支援者名簿のクラウド化をしてほしい。

個人情報に係るため現段階では紙での配布、閲覧限定だが検討する。

品川区防災マップアプリの作成を都が提供している東京都防災アプリを使用している...

区民の手で防災地図を作成し、新たな防災訓練としてはどうか。

シビックテック団体などがデータを活用しやすくするため、オープンデータ化の拡充を今後検討する。

区民からの問い合わせ件数が多い業務などを中心に拡充を検討する。

区長自ら広報活動を積極的にを行い、区民を先導してこの危機(コロナ禍)を乗り越えたい。

ケーブルテレビ、FMしながら、デジタルサイネージ、ユーザープ等活用し、様々工夫しながら状況に応じたメッセージを発信する。

高橋 しんじ 議員 (無所属)



教育・福祉について

区立学校の採用6年目までの教員の人数。新任教員のよい点、課題。

区立学校で区議会が主催者教育を手伝うことの課題。

小学校・義務教育学校前期課程299人、中学校・義務教育学校後期課程120人。

における主催者教育と併せて、講場での社会科見学を継続したい。

RPAはロボットによる業務自動化。令和元年度の削減時間とその時間は、どう活かされたか。

品川区スポーツ推進委員会の地域の役割は。

実技指導やスポーツを通じたまちづくりを地域の方々と行い、地域共生社会の実現に向けたコーディネーター。

立会川エリアと勝島エリアの方々の期待が大きい人道橋整備の実現可能性と運河を所管する東京都港湾局との協議内容は。

芹澤 裕次郎 議員 (自・民)



認知症施策について

区内医師会と連携し、認知症患者の早期発見と早期支援のため、65歳以上の検診の開始を。

令和3年度中の実施に向けて準備を進めている。

国・都と同じく2050年のカーボンニュートラルを目指すゼロエミッションしながわ宣言を。

環境基本計画の見直しを。区立環境学習交流施設を施策の拠点として教育活用を。

進化した防災の在り方

避難行動個別要支援者名簿のクラウド化をしてほしい。

個人情報に係るため現段階では紙での配布、閲覧限定だが検討する。

品川区防災マップアプリの作成を都が提供している東京都防災アプリを使用している...

区民の手で防災地図を作成し、新たな防災訓練としてはどうか。

シビックテック団体などがデータを活用しやすくするため、オープンデータ化の拡充を今後検討する。

区民からの問い合わせ件数が多い業務などを中心に拡充を検討する。

区長自ら広報活動を積極的にを行い、区民を先導してこの危機(コロナ禍)を乗り越えたい。

ケーブルテレビ、FMしながら、デジタルサイネージ、ユーザープ等活用し、様々工夫しながら状況に応じたメッセージを発信する。

エネルギーの地方連携を。検討していく。

学校教育で利用し、周辺校にも来館促進する。

スポーツ振興について

しながわオンラインマラソン大会の開催を。

有効な手法であり、検討する。

共通して読みやすいユニバーサルデザインフォントの導入を。

特別支援教育でも活用する。

研究課題と考えている。

せお 麻里 議員 (自・無)



保育園・幼稚園について

給食で窒息が起こらないよう、注意すべき食材をマニュアルに明記すべき。

小学校・義務教育学校前期課程299人、中学校・義務教育学校後期課程120人。

小学校・義務教育学校前期課程299人、中学校・義務教育学校後期課程120人。

別支援学校教諭免許を持っている教員は73名だったが人数は変化したか？

現在80名に増加している。

障がい児者の福祉について

安全確保ができない場合は利用をお断りしている。

障がい児者の福祉について

障がい児者の福祉について

障がい児者の福祉について

こんの 孝子 議員 (公明)



災害対応について

災害時に消えない街路灯(蓄電池により夜間約3日間点灯)は、各
区民避難所前に区内合計50基設置
されている。今後は、各町会のい
つとき集合場所や区有施設の補完
避難所、津波避難の高い建物や高
台等、避難施設等の周辺にも設置
を要望。

今後、その他の避難所などについ
ても、より安全に避難することが
できるよう必要な設備を整備する。

自転車活用のための安全対策につ
いて

交差点での出会い頭等の自転車
事故防止のため、車の往来が無くて
も見通しの悪い危険な場所にカー
ブミラーを設置するなど、区民が
安全に自転車を利用できる環境整
備を要望。

交通事故を未然に防ぐために必要
な箇所にカーブミラーを設置し安
全対策を実施する。

孤立死防止対策について

人や地域のつながり支援やケアを
拒む孤立した高齢者や8050問
題等への対応について、関係する
所管で一括担当する体制を整備し、
孤立死防止対策の仕組みづくりの
検討を提案。

関連部署に働きかけ、地域共生社
会の実現に向け、さらなる安定強
化を図り孤立死防止対策も含め取
組を進める。

障がい福祉について

視覚障がい者等のガイドヘルパー
の確保について、養成研修の受講
者を増やすため、仕事内容や役割、
やりがい等ガイドヘルパーについ
ての興味関心を持ってもらえるよ
うな取組と普及啓発を提案。

周知内容や方法を工夫するなど、
受講者の増に向けて取り組む。

荏原地域における児童発達支援セ
ンターの増設と、増設されるまで
の間を補完する支援センターの体
制整備を要望。

発達相談から療育につなげる体制
を早期に構築するため、事業所の
誘致を進める。

田中 さやか 議員 (ネット)



新型コロナウイルス感染症の影響
と、自死の急増について

困難に直面した人が自死を選択し
ないための取組と相談窓口を問う。
自死者増加の現状を踏まえ、相談
を促す周知啓発を積極的に行う。

子どもの権利保障について

区内幼稚園・保育園で幼児期向け
CAPプログラムの実施を求める。
手法について検討を深めていく。
教員等子どもに接する職員が権利
条約を学ぶ機会を求める。

研修を通して教員、保育士をはじめ
め全職員が人権意識を高めている。

まちづくりへの市民参画を

都市計画法17条2項を踏まえ説明
会対象を区内全域とし周知すべき。
直接影響の及ぶ範囲の居住者や地
権者等に案内を届けることが重要。
障がい児者施設の安全確保を

のだて 稔史 議員 (共産)



耐え難い被害を押しつけ、住民無
視の羽田新ルートは直ちに中止を

羽田新ルートが実施され半年。騒
音や落下物、大気汚染など被害や
不安は広がるばかり。国の検討会
はルート変更ではなく、固定化す
るもの。新ルートの中止を求める。
国は区民に賛否を問うたのか。

区民への周知、説明が行われた。
国は騒音・落下物対策や情報提供
を前提に新ルートの実施を決定。

区民に賛否が問われたかは事実の
問題。なぜ答えられないのか。

国は引き続き情報提供、環境軽減
策を積極的に行う前提で決定した。
JR開発利益のための「現庁舎跡
にアリーナ建設」は中止を 新庁
舎計画は区民の声踏まえ再検討を

現・新庁舎候補地を活用すれば中
低層が可能。超高層では直下地震

の停電やEV停止で防災や行政機
能を十分に果たせない、いかがか。
EVは復旧するまで動かないこと
も事実だが、超高層の役所はある。

現庁舎跡に検討するアリーナはJ
R広町開発の集客のため。アリー
ナ等にぎわい施設の計画は白紙に。
広町の進捗状況等を見ながら、に
ぎわい施設の整備等について調査
検討を進めていく。

いつ完成するかわからない29号線
道路は中止し、防災ならば住民が
望む建て替え支援の拡充こそ

首都直下地震は30年以内の発生が
7割。26号線はいつ完成するのか。
事業認可から何年たっているのか。
26号線の事業着手は昭和29年8月。
開通時期は今後公表予定。

戸越公園駅周辺の再開発マンショ
ンを進めるために勝手に戸越小学
校を公園にする計画は中止を

再開発の商品価値を高めるために、
戸越小学校を公園にする計画の中
止をまちづくり協議会に求めるべ
き。区教委が計画に反対すべき。
協議会が検討している案の1つと
認識。教委は詳細を承知していない。
今回計画を紹介。教委は学校が開
発のため公園になってもよいのか。
教委は答弁を控える。

西本 たか子 議員 (無所属)



国、東京都、品川区の役割分担の
あり方について

新型コロナウイルス感染症対策における国、
都の対策と、区との協力体制は。
区保健所が感染者対応等の最前線
で実務を担い、区民や事業者向け
の相談窓口では、国や都の緊急支
援策についても案内などしてきた。

区政運営について

しながら活力応援給付金の財源は
財政調整基金で、令和2年5月の
段階で約200億円あったが残高は20
億円余だ。使途が条例で定められ
自由度がない他の基金を、柔軟に
活用できるように条例改正の検討を。

従来にも増して計画的財政運営に
努める必要があるとは認識してい
るが、条例改正をして積み替え等
をする状況にはないと考えている。
危機管理について

明治大学危機管理研究センターが、
災害などの緊急事態に誰が最も頼
りになるかを調査した結果、80%
が家族、75%が自分自身で自助の
認識が高い。しかし、備蓄等を行
っている方は20%程度で、具体的
行動に至っていない。区がめざす
自助・共助による自主防災意識に
つながるよう具体的な施策を。

しながら防災ハンドブックの全戸
配布や避難所の運営支援など、必
要な支援をしている。

子ども政策について

国の発達障害情報・支援センター
の調査で、発達障害のある児童等
の56%がマスク着用が難しいと感
じていると示された。理解を求め
る運動の展開を。

ヘルプカードの利用を勧めて、理
解促進に努めていく。

住民投票に対する区長の見解を聞
く

羽田新ルートの是非を問う住民投
票をどう受け止めているのか。
区民の思いや区としての立場はし
っかりと国に伝えて来ており、こ
れからも伝えていく。しかし、そ
のことがそのまま国に対して通る
かというのは別の問題であり、国
の判断を待つよりほかはない。

議員研修会を開催しました

令和2年12月15日「感染症対策と地域の活動支援 2020年12月」と題して、感染症対策コンサルタントで公益社団法人東京都看護協会危機管理室アドバイザーの堀成美氏を講師にお招きし、ワクチン接種率の低下や輸入感染症持ち込みリスクなどについてご講演いただきました。



東京都看護協会 危機管理室
アドバイザー
港区 感染症専門アドバイザー
国立国際医療研究センター
国際診療部 客員研究員
堀 成美 氏

会派構成および委員会構成が変更となりました

令和2年12月26日付で「自民・無所属・子ども未来」より会派変更届が提出され、同会派の所属議員数は8名から6名に変更となりました。

また、令和3年1月1日付で木村けんご議員と大倉たかひろ議員の2名により、新たに会派を結成する会派届が提出されました。

(会派名:しながわ無所属クラブ)

木村けんご議員より建設委員会副委員長、大倉たかひろ議員より行財政改革特別委員会委員長、あくつ広王議員より同副委員長の職を辞する届出が提出されました。

互選の結果、建設委員会副委員長にのだて稔史議員、行財政改革特別委員会委員長にあくつ広王議員、同副委員長に須貝行宏議員が選出されました。

特別委員会の活動 11月～12月

11月から12月末までの委員会の主な活動は次のとおりです。

行財政改革特別委員会

11月10日 「区有施設、公有地等の活用に関すること」をテーマに調査・研究。

12月3日 「水族館の運営計画に関すること」をテーマに調査・研究。
しながわ水族館を視察。



オリンピック・パラリンピック 推進特別委員会

11月11日 「環境・リサイクルに関すること」をテーマに調査・研究。

12月4日 「レジャー政策に関すること」をテーマに調査・研究。
報告1件(しながわホッケーまちづくりプロジェクト事業)について質疑。



厚生委員会

11月9日 陳情審査(1件)。
報告4件(新型コロナウイルス感染症に係る保健所・保健センターの対応、東京都発熱相談センターの開設など)について質疑。

11月30日 議案審査(17件)、請願・陳情審査(3件)。

12月1日 報告2件(第八期品川区介護保険事業計画概要(案)、新型コロナウイルス感染症に係る保健所・保健センターの対応)について質疑。
「障害児者の支援について」をテーマに調査・研究。



建設委員会

11月9日 陳情審査(1件)。
報告9件(特定整備路線放射2号線沿道の都市計画変更に伴う説明会の実施、航空機騒音の常時測定結果など)について質疑。

11月30日 議案審査(1件)、陳情審査(1件)。
「連続立体交差事業とまちづくりに関すること」をテーマに調査・研究。

12月1日 報告6件(環境学習交流施設の検討状況など)について質疑。

12月25日 議案審査(1件)。



文教委員会

11月9日 陳情審査(2件)。
報告3件(旧第一日野小学校跡地を活用した区立保育園・児童センター等の改築など)について質疑。
「ICT教育に関する学習について」をテーマに調査・研究。

11月30日 議案審査(6件)、請願・陳情審査(5件)。
報告2件(専決処分報告)について質疑。

12月1日 報告5件(品川区教育大綱の改訂、区立学校における体罰等の実態把握など)について質疑。



常任委員会の活動 11月～12月

11月から12月末までの委員会の主な活動は次のとおりです。

総務委員会

11月9日 報告4件(職員の給与に関する報告及び勧告の概要、ふるさと納税(寄附金)に係る体験型返礼品の追加など)について質疑。
「シビックテックについて～ICTを活用した地域課題の解決～」をテーマに調査・研究。

11月30日 議案審査(9件)。

12月1日 議案審査(1件)。
報告2件(品川区教育大綱の改訂、品川区庁舎機能検討委員会の実施状況)について質疑。



区民委員会

11月9日 報告2件(マイナンバーカード予約受付制の開始など)について質疑。

11月30日 議案審査(5件)。

12月1日 報告1件(「品川区スポーツ推進計画(素案)」およびパブリックコメントの実施)について質疑。
「商店街等の支援について」をテーマに調査・研究。



採択・趣旨採択し、区長に報告を求めた請願・陳情について

本会議で採択または趣旨採択し、区長に報告を求めた請願・陳情の処理経過および結果について、議長あてに報告がありましたので、次のとおりお伝えします。

医療従事者の子供に対する保育園入園時調整指数加点に関する請願

新型コロナウイルス感染症の影響により、医療提供体制の強化が必要とされており、医師・看護師の人材確保支援が求められています。こうした状況は、今後も継続されることが予測されるため、医師・看護師の人材確保・就業継続支援の観点から、令和3年4月入園審査より、当面の間は、医師免許もしくは看護師免許を保持して医療機関で勤務している医師・看護師について、調整指数にて1点加点することに決定しました。

品川区でのたばこ対策についての陳情

1. 区の指定喫煙所の早期開放

区では新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月17日に全喫煙所を閉鎖しましたが、都の休業要請全面解除等の状況を勘案して段階的に再開し、現在は9か所中6か所を開放しております。大崎歩道橋下喫煙所ではトリックアートによるソーシャルディスタンスの確保を試みているところですが、閉鎖中の喫煙所も受動喫煙防止と感染対策が両立できるよう調査研究を続けてまいります。

2. 指定喫煙所を適切な配置

公園・駅周辺等の喫煙所設置は用地確保や近隣住民の合意の面において非常に困難な状況にあります。区としても喫煙所は歩行喫煙・吸い殻の投げ捨て防止のため重要な施設と認識しており、引き続き、努力を続けてまいりたいと考えております。

3. 民間事業者が公衆喫煙所を作る際に利用できる、助成金制度を新設

区では喫煙所の助成金は制度新設に向け調査研究を行っているところです。今後、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、慎重かつ着実に進めてまいりたいと考えております。

子どもが健やかに育つための陳情(陳情項目1、2)

(陳情項目①) 品川区の小学1年生から18歳までのすべての子どもたちに、フリーダイヤル電話番号記載の「チャイルドラインカード」を届けてほしい。

(陳情項目②) まもるうちに「チャイルドライン電話番号(フリーダイヤル)」を登録してほしい。

○陳情項目①について

チャイルドラインのフリーダイヤルについては、区保健所や教育総合支援センターで発行しているカードやリーフレットに記載され、区立学校の児童・生徒をはじめ、区民への周知に努めているところです。また、現在、市民科の教科書にも御団体のカードを掲載し「ストレス・なやみの解消法」を学ぶ際に案内しております。

過去には、区立学校において「チャイルドラインカード」を配布したことがあります。今後、教育総合支援センターへご依頼いただければ、各校で配布することは可能です。

○陳情項目②について

「まもるうち」は基幹システムを運用するKDDI株式会社と保護者がオプション契約を結ぶことで、あらかじめ登録した最大10件の相手との通話等ができる仕組みとなっております。これはKDDI株式会社と保護者の任意契約であるため、区として関与することができません。

なお、「まもるうち」から教育総合支援センターの運営するHEARTSに無料で電話できる機能を搭載しており、チャイルドラインについてもこうした運用が考えられますものの、それには現行のシステムの大規模改修が必要でありますことから、現段階でただちに行うことは難しいと考えております。

しかしながら、ご提案の趣旨につきましては、子どもたちにとりまして大変有意義であると考えており、今後、教育委員会とも協議しながらどのような形で取り入れていくことができるか積極的に検討してまいります。

請願・陳情の結果 令和2年第4回定例会

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、結果をお知らせします。請願・陳情についての議事内容等は、各付託委員会の会議録から確認できます。(会議録は品川区議会ホームページ等からご覧になれます)



付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結果
区民委員会	選択的夫婦別姓制度の国会審議を求める意見書を国に提出することを要望する請願	令和元年請願第21号	継続審査
	目黒川沿いに設置されている喫煙所撤去に関する陳情	令和2年陳情第62号	継続審査※
厚生委員会	南品川6-7-18の土地のホテル計画に関する陳情	令和元年陳情第35号	継続審査
	地域や宿泊者にとって、安心・安全なホテル運営ができる制度への改善を求める陳情	令和2年陳情第29号	継続審査
	障害児者総合支援施設での重度心身障害者の受け入れを進めるために、重度障害者に対応した施設整備を区に求める陳情	令和2年陳情第53号	不採択
	加齢性難聴者への補聴器購入費用の助成を求める陳情	令和2年陳情第56号	不採択
	国や都のPCR検査助成事業を活用して高齢者など区民が無料で検査を受けられるよう求める陳情	令和2年陳情第58号	不採択
	生活介護の事業所運営法人を現在より減らすことがないことを求める陳情	令和2年陳情第59号	継続審査
	品川区障害福祉計画・品川区障害児福祉計画素案の区民説明会開催を求める陳情	令和2年陳情第61号	継続審査※
建設委員会	羽田増便による新都心飛行ルートの中止・撤回に関する請願	令和2年請願第3号	継続審査
	羽田増便による新飛行ルートの「教室型説明会」を引き続き開催することに関する陳情	令和元年陳情第17号	継続審査
	羽田増便による新飛行ルートの<教室型説明会>を引き続き開催することに関する陳情	令和元年陳情第34号	継続審査
	区議会決議を尊重して国交省に撤回を求めるよう区長に求める陳情	令和元年陳情第37号	継続審査
	羽田新飛行ルート実施延期と説明会開催に関する陳情	令和2年陳情第19号	継続審査
	羽田新飛行ルートの本格実施飛行の中止を、品川区から国交省に求めてくださいの陳情	令和2年陳情第21号	継続審査
	令和2年3月29日以降の「羽田新ルート」運用について「都心上空飛行ルート」の「海ルート」への変更を求めることについての陳情	令和2年陳情第22号	継続審査
	羽田増便による新飛行ルートの説明会に関する陳情	令和2年陳情第25号	継続審査
	羽田空港国際線増便の目的消失による、新飛行経路の都心低空飛行停止を国に望む陳情	令和2年陳情第28号	継続審査
	西大井地域に西大井駅経由区役所に通じるコミュニティバス運用を求める陳情	令和2年陳情第52号	不採択
文教委員会	「大井町駅周辺地域まちづくり方針」のC地区に関する陳情	令和2年陳情第60号	不採択
	品川区私立幼稚園保護者負担教育費の軽減に関する請願	令和2年請願第14号	採択
	「国に少人数学級を求める意見書」提出に関する請願	令和2年請願第15号	不採択
	「子どもたちの安全と学びの保障」に関する請願	令和2年請願第16号	不採択
	離婚等のこども養育支援にかかる陳情	令和2年陳情第47号	継続審査
	放射2号線道路にかかる品川区立第一日野小学校の敷地を東京都に売却しないでいただきたいことを求める陳情	令和2年陳情第50号	不採択
	品川区立第一日野小学校のグラウンドの改修工事の件 区内の様々な事業に関して、事前の説明不足に関する陳情	令和2年陳情第51号	不採択
	学校及び保育園の給食放射性物質検査の継続・拡充を求める陳情	令和2年陳情第55号	不採択
すべての子どもが20人学級で学べる環境をつくるための陳情	令和2年陳情第57号	不採択	

採 択 : 区議会として、ご希望に賛同します。 趣旨採択 : 区議会として、ご希望の趣旨に賛同します。

不 採 択 : 区議会として、ご希望に賛同しかねます。 継続審査 : 区議会として、引き続き慎重に審査します。

(※は12月10日の本会議最終日に付託されました)

本会議・委員会の日程(予定)

令和3年第1回定例会本会議の会期は2月17日から3月23日までの35日間の会期で開催される予定です。

会議名		開催日時	
本会議		2月17日(水)午後1時 2月18日(木)午前10時 2月19日(金)午前10時 3月23日(火)午後1時	
常任委員会	総務	2月22日(月)午前10時 2月24日(水)午前10時	
	区民		
	厚生		
	建設		
	文教		
議会運営委員会		2月16日(火)午前10時30分 3月22日(月)午前10時30分	
特別委員会	行財政改革	2月25日(木)午前10時	
	オリンピック・パラリンピック推進	2月26日(金)午前10時	
	予算※	款別審査	3月2日(火)・3日(水)・5日(金)・8日(月) 9日(火)・11日(木)・12日(金) ※各日ともに午前10時
		総括質疑	3月17日(水)午前10時

ケーブルテレビ 放送予定

本会議の区長施政方針、代表・一般質問、予算特別委員会の総括質疑の様子は、ケーブルテレビ品川の「品川区民チャンネル」で放送予定です。放送予定日は以下のとおりです。

- 放送予定日
- 本会議
(区長施政方針、代表・一般質問)
2月22日(月)～2月26日(金)
(再放送)2月27日(土)・28日(日)
- 予算特別委員会総括質疑
3月24日(水)
(再放送)3月28日(日)

※予算特別委員会の款別審査では、予算を分野ごとに審査します。そして、最終日の総括質疑では、款別審査の内容等をふまえ、総合的に質疑を行います。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、議会を傍聴できる人数を制限しています。くわしくは区議会事務局までお問い合わせください。

※本会議は区議会ホームページでインターネット生中継をしています。また、インターネット録画中継も、本会議終了後おおむね1週間後、予算特別委員会の総括質疑は終了後おおむね2週間後にご覧いただけます。

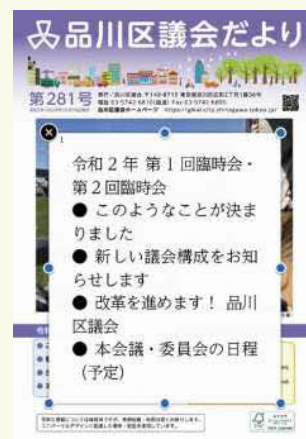


スマホで読める区議会だより デジタルブック配信中

無料アプリ「カタログポケット」をインストールすると、区議会だよりをスマートフォンやタブレットで簡単に閲覧できます。



- 読みやすい文字で**
本文をタップすると、文字が大きくポップアップ表示されます。
- 音声で読み上げ**
テキストの読み上げを設定し本文をタップすると、音声で読み上げます。
- 多言語に対応**
10言語で読む・聞くことができます。



区議会だよりに掲載する写真を募集しています

広報会議では、「区議会だよりについて、より多くの方にご興味を持っていただきたい」との思いから、表紙写真を募集しております。ご応募いただいた皆様、素晴らしいお写真をありがとうございました。

【応募資格】区内在住・在勤・在学の方

【募集作品】品川区内で撮影したデジタル写真

品川区の魅力をPRできるような写真をお待ちしております。

※応募規定など、詳細は区議会ホームページのご案内をご覧ください。

【問い合わせ先】

調査係 電話：03-5742-6810

Fax：03-5742-6895



議会報告会を開催しました

今年で4回目となる議会報告会を開催しました。初めての試みとして、総務、区民、厚生、建設、文教の各常任委員会ごとに開催する予定でしたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の急速な拡大のため、各会場における対面式の報告会は中止とし、当初より予定していた区民委員会のZoomによるオンライン報告会のみを開催となりました。参加を予定していた方におかれましては、

大変申し訳ございませんでした。令和2年12月14日、午後7時から開催した報告会には15名の方にご参加いただきました。これまでの委員会の活動報告の後、「コロナ禍における生活支援等について」をテーマに、感染症対策、屋形船キャンペーン、家賃助成について、区民委員会所属の8名の議員と意見交換を行い、オンライン会議の推進などのご意見をいただきました。



防災訓練を実施しました

令和2年12月10日の本会議終了後、防災服を着用し、議長・副議長・各会派の幹事長により、災害対策本部の役割や流れの確認を行いました。

災害対策本部会議終了後、すべての議員が本会議場に集合して、災害時の区議会議員としての役割や行動、緊急連絡の方法などについて確認しました。

今後も災害発生時の区議会議員の行動のあり方について、検討を進めていきます。



品川区議会は東京2020大会の ビーチバレーボール、 ホッケー、ブラインドサッカーを 応援しています

令和元年12月に議員有志が会派を超えて結成した三競技応援議員連盟は、オリンピック区内開催競技のビーチバレーボールとホッケー、パラリンピックのブラインドサッカーを応援しています。

令和2年11月15日にビーチバレー品川オープン決勝の試合を、11月22日にはホッケー日本リーグ決勝の試合を観戦・応援しました。今後もビーチバレーボール、ホッケー、ブラインドサッカーを応援し、盛り上げていくためのさまざまな取り組みを行っていきます。



鈴木/坂口組 対 石井/村上組



コカ・コーラ 対 ソニー

清水台小学校の6年生が区議会本会議を傍聴しました

区立清水台小学校の6年生が、令和2年11月27日に第4回定例会本会議の一般質問を傍聴しました。傍聴した児童から寄せられた感想の一部をご紹介します。

●私たちの生活の中には本会議で決まったも

のが取り込まれていることがわかりました。

- 自分たちにとって身近なものが質問として出ていたので、より興味をもてました。
- 車いすの方でも傍聴できる工夫がしてあってとてもよいと思います。

感想の全文は区議会ホームページで公開中です



品川女子学院の中学1年生と意見交換会を行いました

令和2年11月19日、「地域課題解決に向けての意見交換会～品川区議会と品川女子学院生徒～」を同校にて行いました。

品川女子学院の生徒たちは、総合学習の一環で地域の課題について調べており、生徒たちが課題と感じている「満員電車の問題について」等、5つの課題について区議会議員（議会報告会等準備会議のメンバー）と意見交換を行いました。

議員が質問・助言を交えて意見交換を行うことにより、生徒たちも課題に対する別のアプローチの方法や新しい解決策のヒントを得た様子でした。

